
5. 年齢別カリキュラム（各年齢の発達と教育のねらい）

平成30年度に施行される新たな幼稚園教育要領、保育所保育指針及び幼保連携型認定こども園教育・保育要領では、生きる力の基礎を育むため、教育及び保育の基本を踏まえ、幼稚園、保育所及び幼保連携型認定こども園において育みたい資質・能力として、『豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かたり、できるようになったりする「知識及び技能の基礎』、『気付いたことやできるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする「思考力、判断力、表現力等の基礎』及び『心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする「学びに向かう力、人間性等』の3つの資質・能力を一体的に育むように努めるものとするということが明記されています。

また、この3つの資質・能力は、乳児期の3つの視点と幼児期の5つの領域で示される教育・保育の「ねらい及び内容」に基づく活動全体によって育まれること、さらに、その活動全体を通して資質・能力が育まれている「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を示しつつ、保育教諭等が指導を行う際に考慮するものであることが明記されています。

本章で示す「年齢別カリキュラム」は、これらの新指針・要領で示された育みたい資質・能力及び「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえたうえで、おおむね6か月未満からおおむね5歳までの各年齢における子どもの発達と教育のねらいなどを育ちの目安として示したものです。

<「育みたい資質・能力及び幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と「門真市就学前教育・保育共通カリキュラム」の関係>

【基本理念】

未来をひらく子どもを育てる

【めざす子ども像】

思いを伝えつながら子ども

心豊かな子ども“いきいき” 健やかな子ども“のびのび” 遊び学ぶ子ども“わくわく”



幼稚園、保育所、認定こども園等において育みたい資質・能力

知識及び技能の基礎

思考力・判断力・表現力等の基礎

学びに向かう力、人間性等

【年齢別カリキュラム】

遊びを通しての総合的な指導

五つの領域(幼児期)

言葉

表現

三つの視点(乳児期)

身近な人と
気持ちを通じ合う

身近なものとの関わり
感性が育つ

健やかに
伸び伸びと育つ

人間関係

健康

環境